



菜の花

発行 独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町 4145 番地
TEL 0993-22-2231 (代表)
0993-22-2230 (ダイヤルイン)
URL <http://www.hosp.go.jp/~ibusuki/>
印刷 陽文社印刷株式会社

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER

平成 27 年 5 月

新年度のあいさつ

院長 田中 康博

平成 27 年度が始まり、役立つ地域中核病院を目指し、気持ちを新たに身を引き締めております。平成 26 年度は救急車受入れ件数が 874 件（平成 18 年度 253 件）、月平均 72.8 件と過去最高を示しました。指宿の救急車出動件数の 45.8% を占めています。一方、時間外診療は 3,762 件と減少傾向（小児は増加）を示しています。指宿市は医師会による輪番医制度（輪番サポート医など）を活用した救急体制が、充実しているためです。医師会、同医療圏の医療機関の協力を頂きながら 2 次救急以上に専念できているようです。

さて今年度は新たに眼科を開設いたしました。平成 23 年度鹿児島県が行った県民保健医療意識調査で南薩医療圏の不自由を感じている診療科目の第一位が眼科・産婦人科で同率 18% でした。特に眼科手術のために南薩医療圏外に行かれているとのこと。対象患者さんが高齢者であること、糖尿病など基礎疾患を有している人が多い事、一人暮らしの方も多く、圏外医療機関での日帰り手術も結構な負担になっている事、眼科的な救急に対応できていない事など、考えますと住民の希望に応えられないものだろうか、どうかか地元で眼科手術や救急ができないものかと考えておりました。鹿児島大学、鹿児島市立病院で勤務していました尾辻太先生も同じ思いを持っており、今回開設の運びとなりました。眼科の救急や手術を中心に据えた医療を目指す予定です。市中の眼科医院とも連携を取りながら眼科領域の地域完結型医療に少しでも貢献したいと思っております。

日本各地、地域医療問題は大きく取り上げられ関心は大きくなっているものの、具体策がないのが現状です。当院は幸いにも救急部門、がん医療部門、成育医療部門（小児科、産婦人科）の医師確保を始め充実しつつあります。地域救急医療、地域医療システムなど、地域から医療の在り方を発信したいと思っております。最終的には教育のできる地域中核病院を目指したいものです。地域では専門性を生かしながら自動的に全人的医療（総合診療科的医療、ドクター G 的医療）にならざるを得ません。今求められる医師像が自然に会得できる環境と思えます。若い研修医も平成 21 年は 1 名でしたが、今年度は 12 名と増えてきました。若い人たちに評価されることが何よりの励みになりますし、我々の頑張れる糧になります。彼らも地域ゆえに味わえる感動を覚えることでしょう。

病棟建替えも順調に進んでおり、平成 28 年秋の Open を目指しています。もっと役立ち、もっと愛される真の地域中核病院を目指し、少しでも前へ進めていきたいと思っております。今年度もよろしくお願いたします。



理念

患者さまにやさしく、地域に信頼される
良質な医療の提供をめざします。

運営方針

- 1 がん診療の治療の向上をめざします。
- 2 成育医療の充実をめざします。
- 3 救急医療の充実をめざします。
- 4 脳血管障害の治療の向上をめざします。
- 5 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療をめざします。



当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。

たくさんの黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということ表現しています。

緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。

診療科紹介

眼科紹介

眼科医師 尾辻 太

この度当院に眼科が新設されました。4月13日より眼科診療を行っております。私たち人間は、外界からの情報の80%以上は眼から得るといわれています。平均寿命が延びている現在、一生涯において“みる・みえる”はとても重要な機能です。

眼科では、その眼に関する検査、診察および治療を行う診療科であります。眼科で扱う主な疾患には、屈折異常（遠視、近視、乱視）、白内障、緑内障、ドライアイ、結膜炎、網膜剥離、高血圧網膜症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症などがあります。

これら疾患に対して当院眼科では診療を行い、レーザー治療や硝子体注射治療、手術では白内障手術を中心に、硝子体手術治療を行っていく予定です。全身合併症があり全身管理下での眼科手術を必要とする患者さんや指宿市外の医療機関へ通院が困難で困られている患者さんがいらっしゃいましたらご相談下さい。

また、鹿児島大学病院眼科、鹿児島市立病院と連携を図り、様々な眼疾患に対して診療、あるいは紹介が可能です。

主な治療・手術内容

- ・虹彩光凝固術
- ・網膜光凝固術
- ・硝子体注入・吸引術
- ・硝子体切除術
- ・硝子体茎頭顕微鏡下離断術
- ・水晶体再建術
- ・後発白内障手術
- ・硝子体置換術 など。



手術は、平成27年5月19日から開始予定としております。

何か目のことで気になる患者さんがいらっしゃいましたら、ご相談していただければ幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

産婦人科紹介

産婦人科部長 恒松 良祐

当院産婦人科は平成27年度よりメンバーが入れ替わりました。4月1日付で九州大学病院産科婦人科より恒松 良祐(つねまつ りょうすけ)が産婦人科部長に、佐世保共済病院より大塚 純一(おおつか じゅんいち)が産婦人科医師として着任いたしました。平成26年10月より当院に勤務しております庄野 真由美(しょうの まゆみ)医師は、4月いっぱいJCHO九州病院(北九州市)に異動になりますので、5月からはこれまで通りの2名体制となります。マンパワーや施設能力の限界もございますので、ハイリスク妊娠、婦人科悪性腫瘍、生殖補助医療(ART:体外受精、顕微授精など)など専門医療機関での診断・治療が必要な患者様には適切な施設をご紹介させていただくことで対応いたします。

以下に当科の診療内容を示します。

【周産期】

妊娠の診断、妊婦健診～出産までこれまで通り対応いたします。里帰り出産も受け付けております。早産は妊娠35週以降に対応可能です。今年度より二絨毛膜性(一般には二卵性)双胎に限りませんが、双胎妊娠の受け入れも開始します。

【婦人科腫瘍】

良性腫瘍(子宮筋腫、卵巣嚢腫など)、子宮内膜症などの診断、治療を行います。腹腔鏡手術も開始いたします。患者様の病状に応じてできるだけ低侵襲な治療を行っていきます。また子宮がん検診にもこれまで通り対応いたします。

【生殖・内分泌】

月経不順、無月経、挙児希望・不妊症に対する検査(ホルモン検査、超音波検査、子宮卵管造影)や治療に対応いたします。

【女性ヘルスケア】

更年期障害、月経前症候群、月経困難症などに対するホルモン療法や漢方療法、骨盤臓器脱に対する保存的、外科的治療などに対応いたします。

産婦人科病棟は4階にあります。病棟の中では最上階であり、当院は元々高台の立地ですので非常に景色がよいです。4病棟には看護スタッフとして12名の助産師が勤務しており、外来から分娩、出産後まで一貫して保健指導が行える体制を作っています。妊婦さんが安心して出産の日を迎えられるよう、スタッフ一同精一杯援助いたします。

病状や治療方針については、患者様に丁寧に説明を行って十分に納得して治療を受けていただけるよう心がけています。産婦人科に限ったことではありませんが、近年はEBMに基づいた医療が推奨され、各種診療ガイドラインに則った医療の標準化が進んでいます。当科は標準治療を提供できる施設を目指して日々自己研鑽に努め、病棟及び外来スタッフと綿密にコミュニケーションを図りながら、新しい産婦人科チームを作り上げていきたいと考えております。

これからも南薩地域の皆様のお役に立てる診療科でありたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新任医師の挨拶



●産婦人科部長 恒松 良祐

産婦人科の恒松 良祐と申します。この度上木原先生の後任として平成27年4月より指宿医療センターに赴任することとなりました。

出生地は熊本で、父の転勤のため熊本県内及び北九州市と転々となりましたが、高校まで概ね熊本県内で過ごしました。大学進学のため福岡に移り、以後四半世紀を福岡で過ごしてまいりました。平成8年に九州大学医学部を卒業し、2年間の産婦人科研修医、1年間のレジデントとしての研修を経て、九州大学大学院医学系研究科へ進学しました。大学院4年間とポスドク期間を含めて7年間基礎研究に従事したのちに九州医療センター、九州大学病院と勤務してまいりました。九大では生殖・内分泌・女性ヘルスケアを専門として診療、教育、研究にあたっておりました。

妊娠・分娩といった周産期医療のみならず、ホルモン療法や内視鏡手術など婦人科領域の診療サービスも提供できればと思っております。指宿医療センター産婦人科をよりよい診療科にするために、微力ながら大塚先生と力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

趣味はゴルフです。指宿周辺にはいいゴルフ場があるとうかがっております。趣味を伸ばすことにも頑張っていきたいと思っております。指宿は菜の花マラソンで全国的に有名ですが、残念ながら走ることは苦手です。

よろしくお願いたします。



●産婦人科医師 大塚 純一

4月から指宿医療センターに赴任した大塚純一と申します。簡単ではありますが、自己紹介をさせていただきます。福岡県北九州市

で育ち、関東の大学に進学しました。そのまま、関東で初期研修を行い、実家のある九州に戻ってまいりました。医局は九州大学産婦人科に入局しました。趣味は釣りで、時間があれば海にでかけておりました。年中黒いね！、が自分への褒め言葉です。

自分の研修した土地が日本で人口1人あたりの医師の数が最も少なく、医師になりたての自分ですら即戦力とされ、また患者さんからも身内のように相談事をされるようなことがありました。そんな、医師としてのスタートをきったため、人とのあたたかさに触れ合え、それにできる限り応えられる臨床医を目指そうと日々努力してまいりました。また、入局後は周りに田んぼ、山、川、海など自然豊かな地域の関連病院で働き、福岡市在住はわずか8ヶ月しかありません。しかし、それは私が希望するような環境であり、未熟者でも地域に貢献させていただける、大変名誉ある事だと思っております。

指宿は旅行でも行ったことがなく、人生で初めての土地です。周りの人に指宿はどのような土地かと聞くと、皆「温泉！」としか答えません。温泉は私でも知っていますし、もっと色々な事があるはず。住んで、見て、感じて、指宿医療センターの存在意義、地域の方々の人情味、自然の魅力などを全身で吸収します。

前任の先生方に恥じないように努力致しますので、皆様あたたかい気持ちで見守って下されば幸いです。

それでは、皆様・魚達、宜しくお願致します。



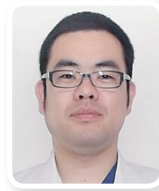
●眼科医師 尾辻 太

はじめまして、尾辻 太（おつじ たい）と申します。私は幼少期を指宿で過ごし、鹿児島市内の高校を卒業後、福岡の大学医学部へ進学しました。医師となつてからは福岡の大学病院はじめ基幹病院、開業医院などで7年間眼科の臨床研修を行い、今から8年前に鹿児島へ戻ってきました。戻つてからは鹿児島大学病院、青雲会病院（始良市）、鹿児島市立病院で勤務してきました。医学部に入学した頃から「いつかは鹿児島そして指宿で医師として働き、地元の方々へ何かお役に立てることができたら」と思っていました。この度田中院長との出会いによって指宿医療センターに今年4月から眼科が開設されることとなりました。4月からは心機一転、指宿の眼科医療（外来、手術）に微力ながらも貢献していきたいと思っております。目のことで何かお困りなことがございましたら、何なりとご相談ください。これから宜しくお願いします。



●消化器科医師 軸屋 賢一

4月から消化器内科に勤務することになりました。今年で医師として10年目になります。指宿地区は初めての勤務になります。まだまだ未熟者でご迷惑をおかけするかと思いますが、小園先生と共に、外来や内視鏡、急患対応など精力的に行っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



●泌尿器科医師 水間 浩平

2015年4月より泌尿器科医長に就任することとなりました。患者さんに分かり易い説明・治療を心がけています。最近は新しい治療が生まれるとともに治療方針が変わっていく疾患も多いですが、患者さん一人一人にとってベストな治療ができるように頑張っていきます。



●消化器科医師 小園 雅哉

4月から消化器内科で勤務させていただくこととなりました小園雅哉です。指宿地区では初めての勤務となります。

消化器疾患は食道から直腸、肝臓、胆嚢、膵臓と幅広い領域を扱うこととなりますが、すべての消化器疾患を診療できるようにしたいとおもいます。ただ不得意分野もありますので、鹿児島大学病院などの高次医療機関と連携して最善の医療が提供できるよう努力してまいりますので、宜しくお願いします。

